

竿掛セットJ（標準本体） 竿掛セットE（ワイド本体）

取付説明書 — サンクステラス取付け用 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
 - この取付説明書では、次のような記号を使用しています。
- ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本商品は、サンクテラス専用です。他の商品には取付けないでください。
- 本商品には標準本体Jとワイド本体Eがあります。ワイド本体Eでは、出幅3尺以下には取付けできません。
- 本商品は、15kg以上（竿を含む）の物を干したり、本商品および竿にぶらさがったりしないでください。破損しケガをするおそれがあります。
- 本商品には、風の強い日には使用しないでください。
- サンクテラスRタイプの曲げ部分には取付けできません。

<施工上のご注意>

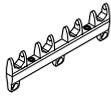
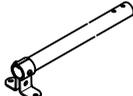


注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 風当たりの強い場所では、テラスの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

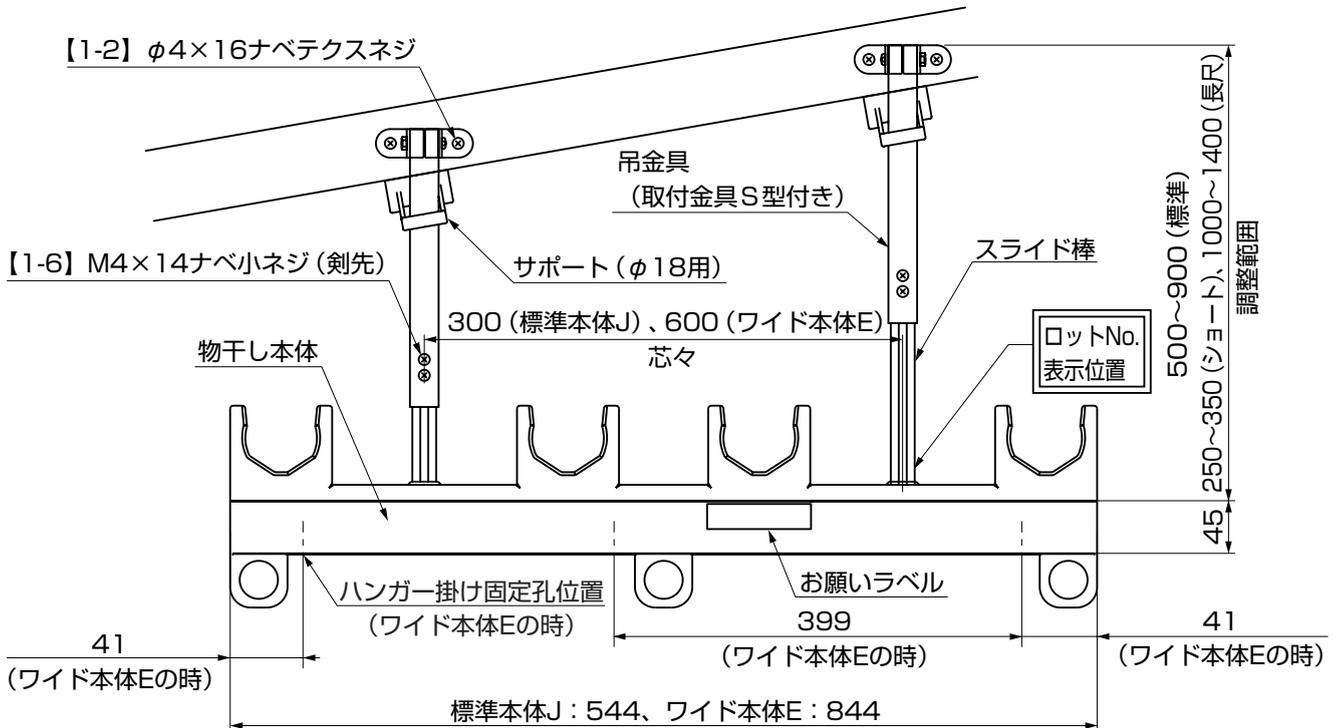
■梱包明細表

【1】竿掛セット

名 称	略 図	員 数			
		標準タイプ		ワイドタイプ	
		2本入	3本入	2本入	3本入
物干し本体 標準本体（竿掛セットJ）		2	3	—	—
物干し本体 ワイド本体（竿掛セットE）		—	—	2	3
吊金具（取付金具S字付き）		4	6	4	6
スライド棒		4	6	4	6
位置出し紙		1	1	1	1
取付金具L型		8	12	8	12
サポート（φ18用）		4	6	4	6
当て紙		1	1	1	1
【1-1】φ4×25ナベタッピンネジ2種		8	13	8	13
【1-2】φ4×16ナベテクスネジ		9	14	9	14
【1-3】M5×16トラス小ネジ		4	6	4	6
【1-4】M5六角ナット		4	6	4	6
【1-5】M5×20ナベタッピンネジ3種		8	13	8	13
【1-6】M4×14ナベ小ネジ（剣先）		8	13	8	13
【1-7】M4×10ナベ小ネジ		—	—	6	9
【1-8】M4用平座金		8	13	—	—
取付説明書	—	1	1	1	1

1. 各部の名称

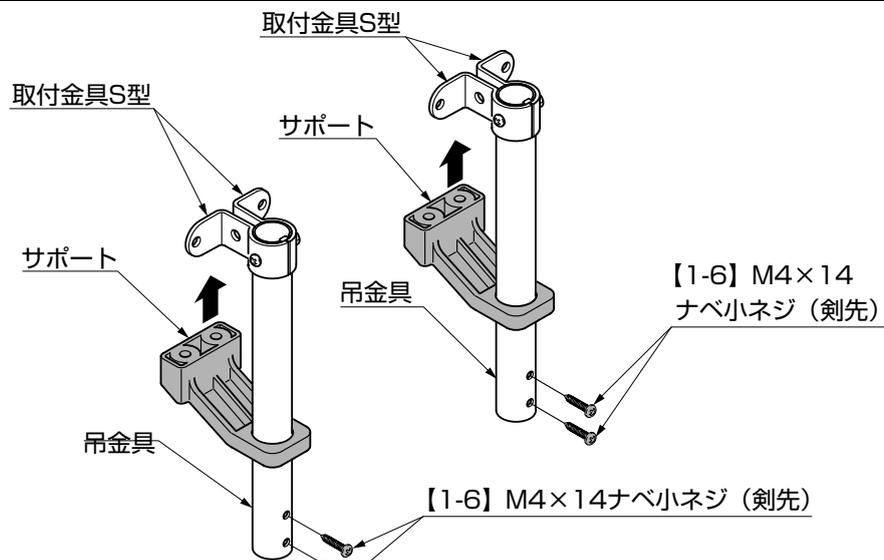
※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



補足

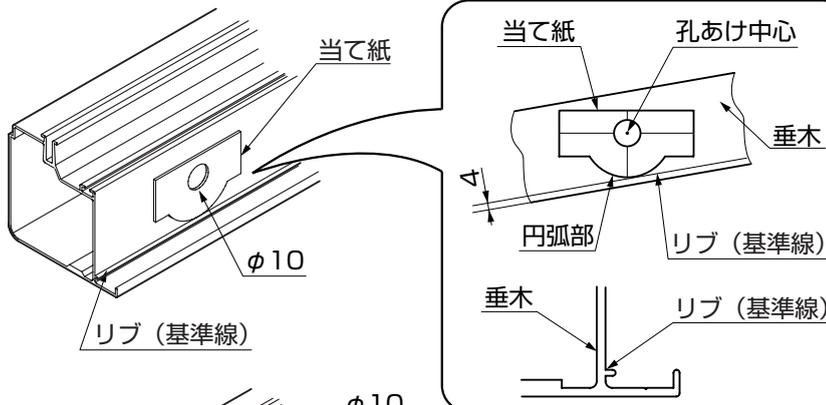
- ハンガー掛け固定孔の加工は、ワイド本体Eのときにあけてください。
- お願いラベルが施主様に見えるように取付けてください。
- ワイド本体Eは3尺以下のテラスには取付けできません。
- 側面パネルと施工する場合は「サンクテラス用側面パネル (Z105)」をご参照ください。
- サンクテラスRタイプの曲げ部分には取付けできません。

2. 垂木部の加工・組立て



①吊金具にサポートを通し、【1-6】を取付けてください。

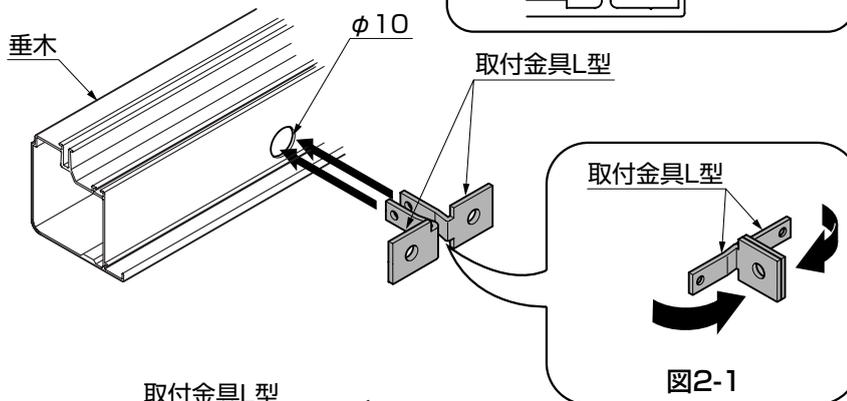
2. つづき



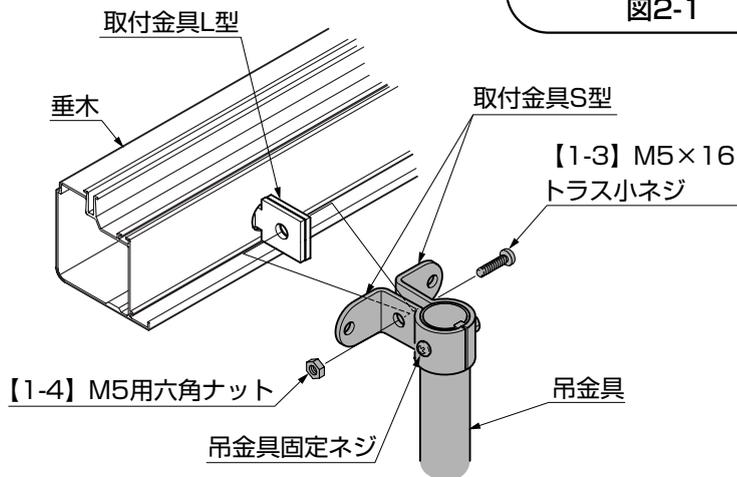
- ② 垂木への取付け位置に当て紙を使い、リブ上部を基準線として円弧部を合わせ、孔あけ中心にφ10の孔をあけてください。
- ③ 下孔にバリが出た場合は取除いてください。

ポイント

- バリを取除かないと、ガタツキの原因になります。



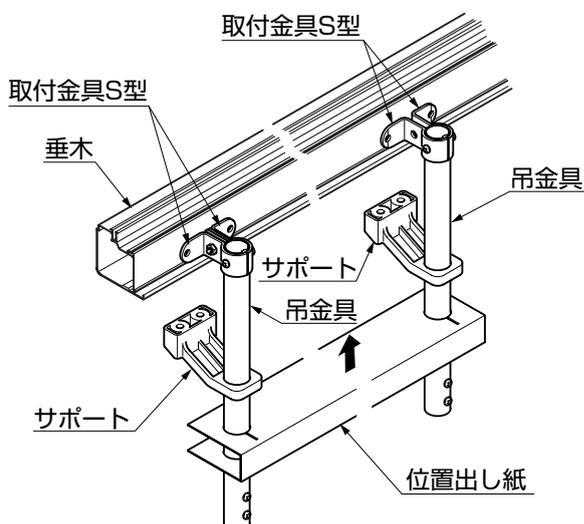
- ④ φ10の孔1個当りに取付金具L型を2個挿入してください。
- ⑤ 取付金具L型を挿入後、矢印の方向に倒してください。(図2-1参照)



- ⑥ 吊金具に付いている取付金具S型で取付金具L型をはさみ、[1-3]と[1-4]で結合させてください。

補足

- 取付金具L型がはさみにくい場合は、「吊金具固定ネジ」をゆるめてください。



- ⑦ 吊金具を位置出し紙に差込んでください。
- ⑧ 位置出し紙を垂木に近づけて水平を確認してください。

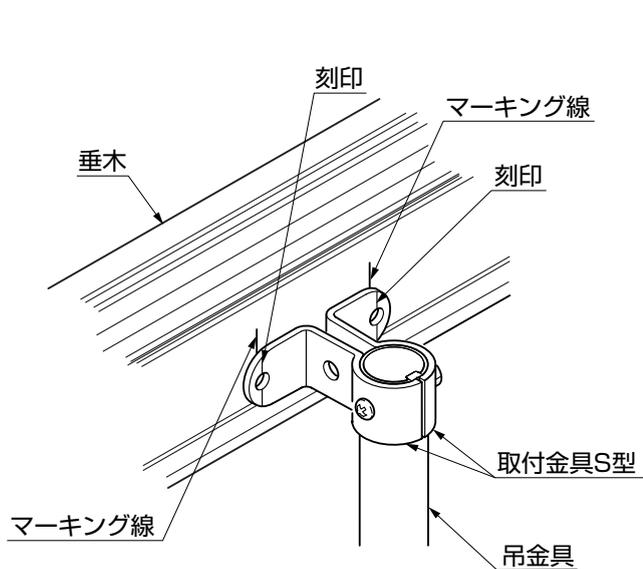


図2-1

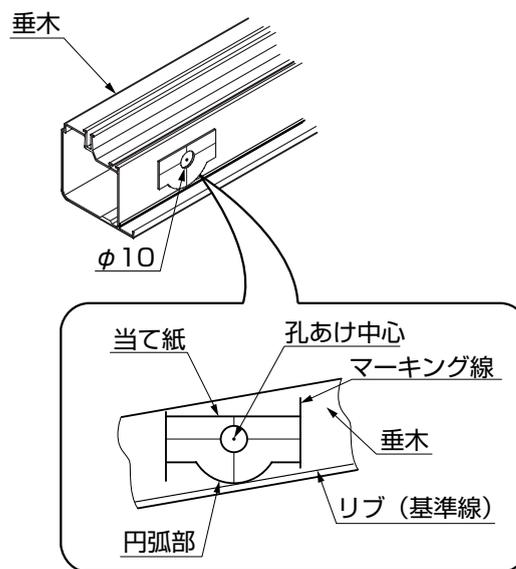


図2-2

- ⑨ 固定していない吊金具に付いた取付金具S型の刻印の上下をマーキングしてください。(図2-1参照)
- ⑩ マーキング線に当て紙の両端部を合わせ、リブ上部を基準線として円弧部を合わせ、孔あけ中心にφ10の孔をあけてください。(図2-2参照)
- ⑪ ③～⑥を繰り返してください。
- ⑫ 位置出し紙を外してください。

3. 物干し本体の組立て

3-1 ハンガー掛けの固定

※ワイド本体Eの場合の作業です。

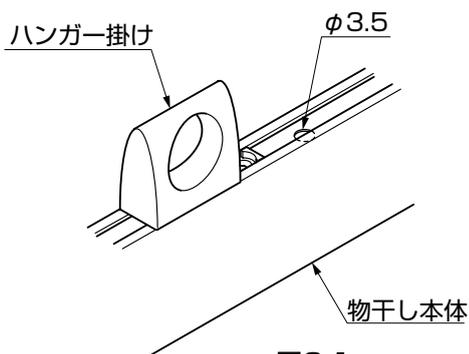


図3-1

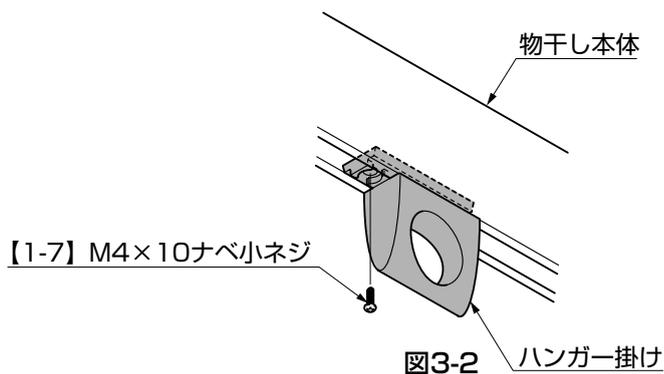


図3-2

- ① ハンガー掛けを固定するときは、物干し本体にφ3.5の孔をあけてください。(図3-1参照)

補足

● 孔位置の寸法は「1. 各部の名称」を参照してください。

- ② ハンガー掛けは、【1-7】で締付けて固定してください。(図3-2参照)

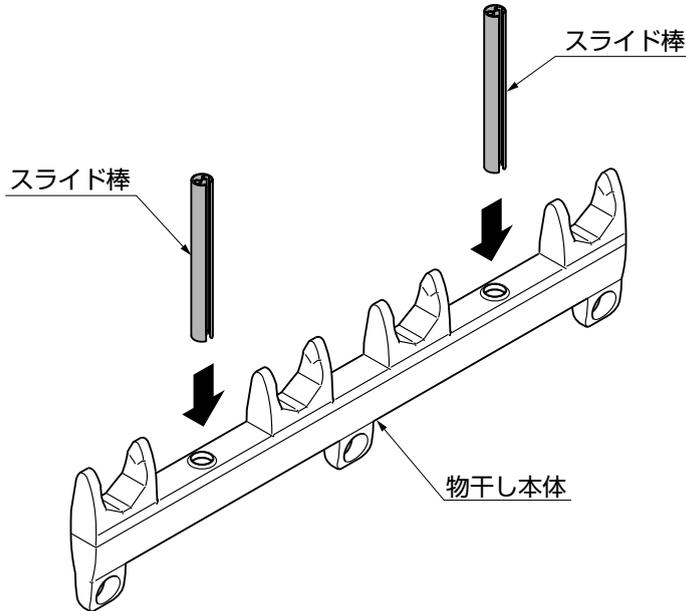
ポイント

● ハンガー掛けを止める【1-7】は手回しドライバーで締付けてください。

3. つづき

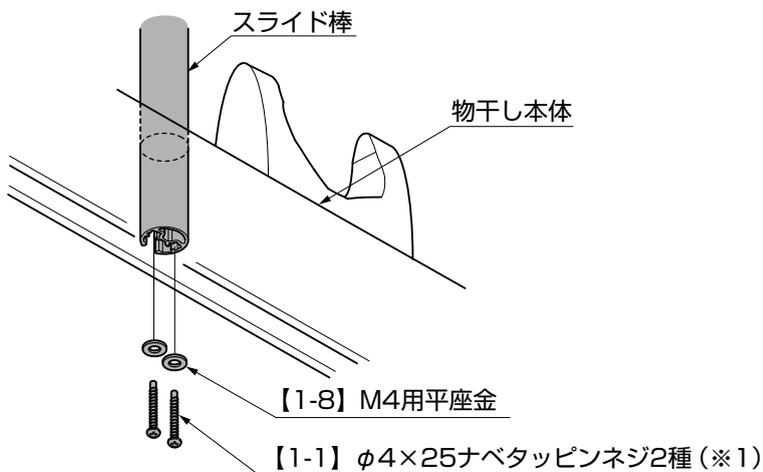
3-2 スライド棒の取付け

※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



①物干し本体の上側の孔に、スライド棒を差込んでください。このとき、スライド棒の溝が2本とも同じ側を向くようにしてください。

(1) 標準本体Jの場合

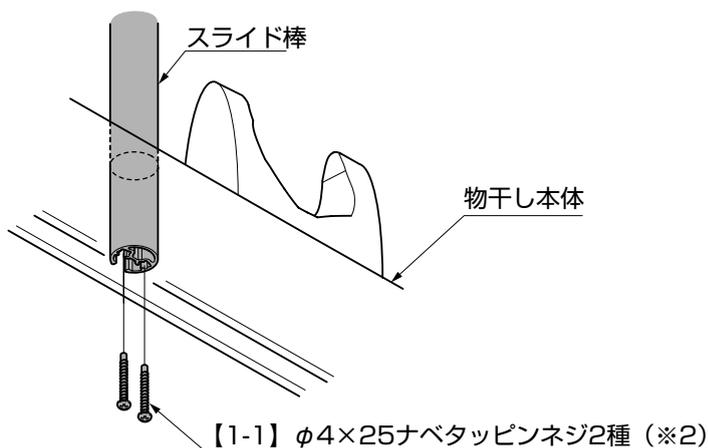


①物干し本体の下側の孔から物干し本体とスライド棒を【1-1】と【1-8】で仮止めしてください。(※1)

補足

●本締めするとスライド棒がねじれて吊金具に挿入できない場合があります。

(2) ワイド本体Eの場合



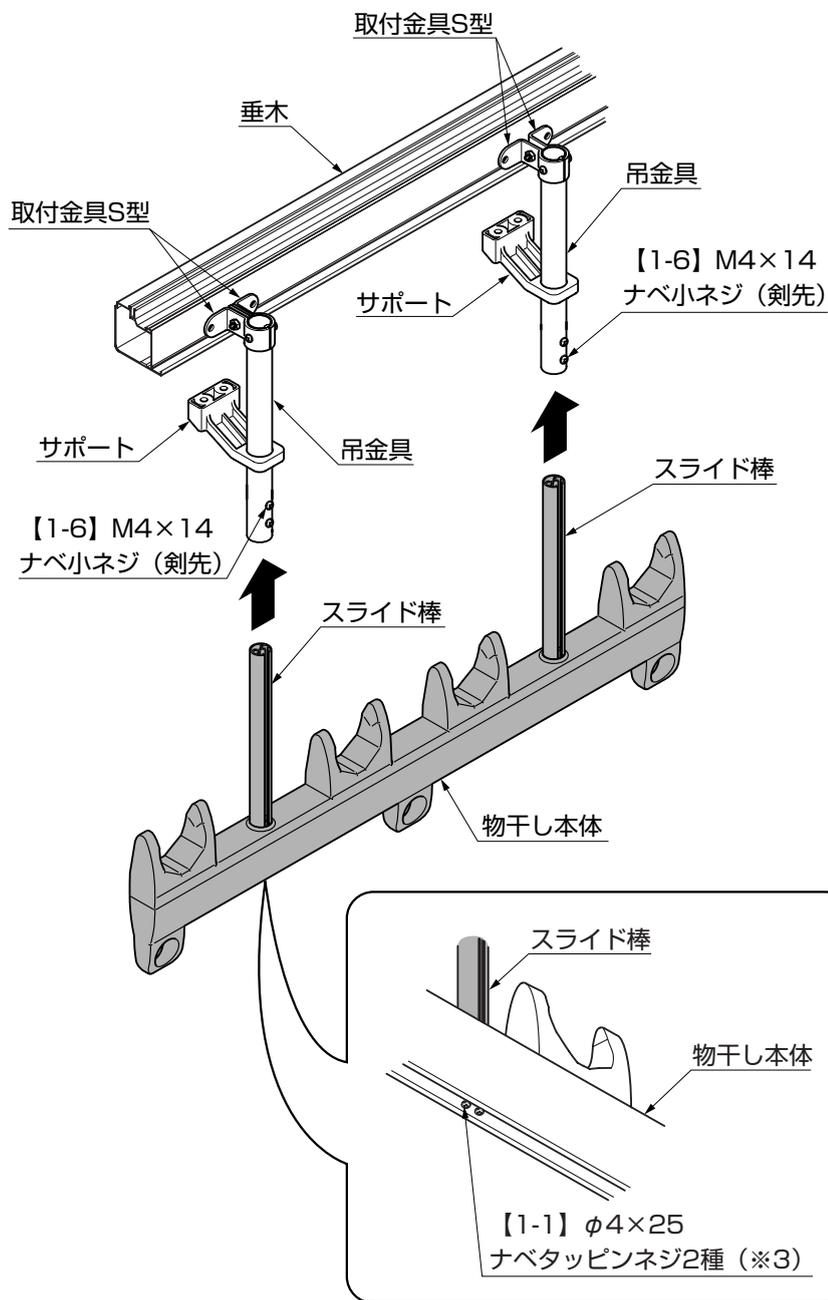
①物干し本体の下側の孔から物干し本体とスライド棒を【1-1】で仮止めしてください。(※2)

補足

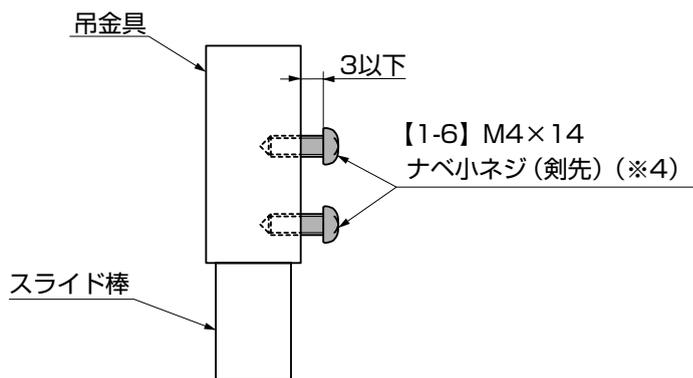
●本締めするとスライド棒がねじれて吊金具に挿入できない場合があります。

3-3 物干し本体と吊金具の取付け

※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



- ① スライド棒を吊金具に通して、【1-6】で仮止めしてください。
- ② 【1-1】を本締めしてください。
(※3)
- ③ 【1-6】をゆるめ、長さと角度を調整してください。

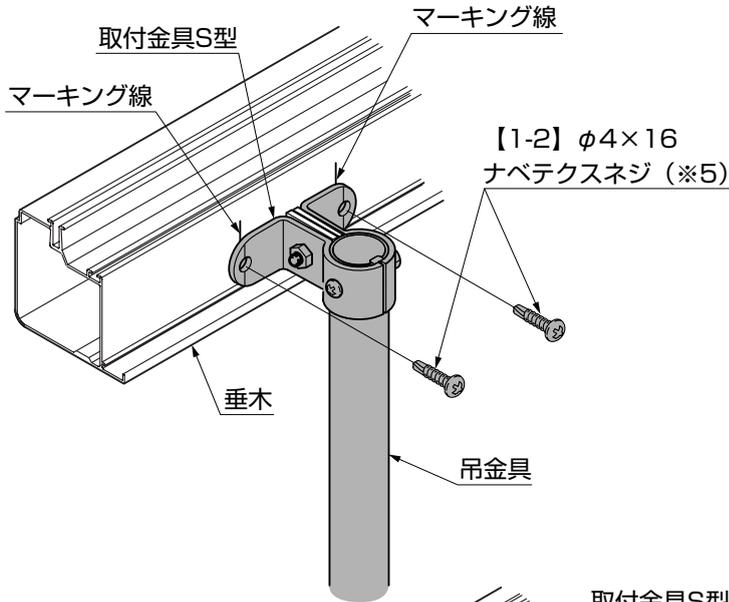


- ④ 【1-6】の首下が3mm以下になるまで締付けてください。(※4)

注意

● 締付けが足りないと落下の原因になります。

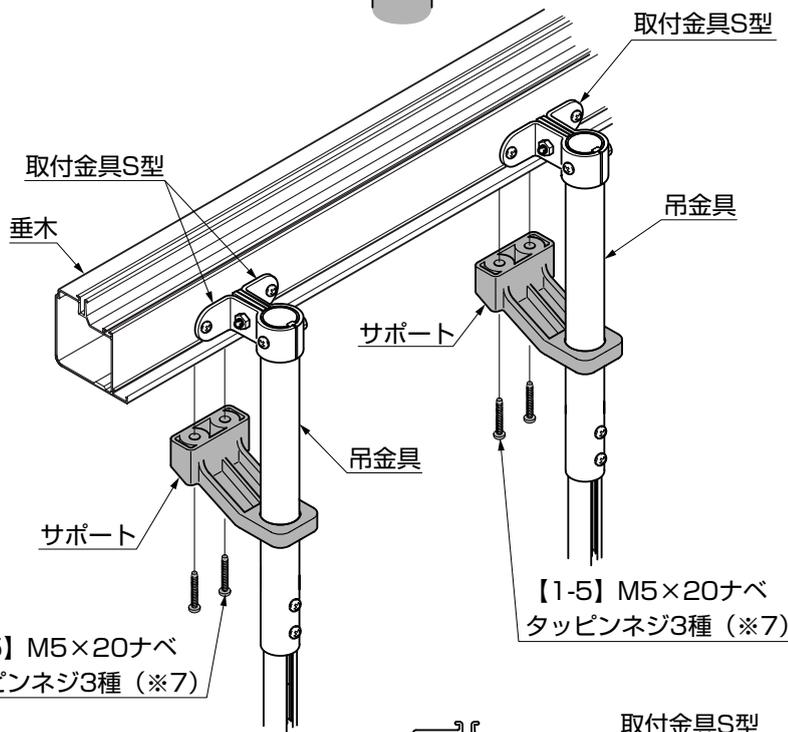
4. 垂木部の補強



① 【1-2】で取付金具S型と垂木を固定してください。(※5)

ポイント

●このネジは特殊加工してあるので必ず同梱のネジを使ってください。



- ② サポートを垂木にあて、孔位置をマーキングしてください。
- ③ マーキングした位置に下孔(φ4)をあけてください。(※6)
- ④ サポートを【1-5】で取付けてください。(※7)

ポイント

●【1-5】の取付けトルクは120kgf・cm以下にしてください。

